

承認番号：RD6509-013

文書番号：18016779

平成 30 年 1 月 23 日

フレックスマルチ試験成績報告書

株式会社 タイルメント
技術開発センター

1. 目的

「フレックスマルチ」の JIS A 5548 タイプ I の性能を確認する。

2. 試験項目

JIS A 5548 タイプ I に基づく接着強さ試験

3. 試験材料

被着材：セラミックタイル / JIS A 5209 BIII施ゆうタイル（陶器質タイル）

40mm 角に切断して使用

下地材：モルタル板(70mm×70mm×20mm)

4. 試験方法

4.1 試験体の作製

標準状態（ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、 $50\pm 10\%\text{RH}$ ）において、下地材に接着剤を適量とり、ヘラを用いて 5mm 程度塗布した後、くし目ごて（幅×高さ×ピッチ： $5\times 5\times 10\text{mm}$ 、角ノッチ）を角度約 60° に立て均一に塗布した。その後、待ち時間を 20 分とり被着材を下地材の中央に静かに載せ、その上に 1kg のおもりを約 30 秒間圧縮し、試験体とした。なお下地材のモルタルはあらかじめ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ の水中に 7 日間浸せきしておき、モルタル表面の浮き水を除去した後、試験に使用した。

4.2 養生条件

標準養生 : 標準状態雰囲気下で 168 時間養生。

低温養生 : 低温($5\pm 2^{\circ}\text{C}$)雰囲気下で 840 時間養生。

アルカリ水中浸せき : 標準状態で 168 時間養生した後、水酸化カルシウム飽和溶液 ($23\pm 2^{\circ}\text{C}$) 中に 48 時間養生。

温水浸せき養生 : 低温雰囲気下で 168 時間養生した後、温水 ($50\pm 2^{\circ}\text{C}$) 中に 24 時間養生。

熱劣化 : 標準状態で 168 時間養生した後、高温乾燥 ($60\pm 2^{\circ}\text{C}$) 雰囲気中に 672 時間養生。処理終了後、試験体を標準状態で 24 時間静置した後測定した。

4.3 測定条件

テンシロン万能材料試験機 RTF-2410 により、変位速度 $3\text{mm}/\text{min}$ にて測定を行った。

5. 試験結果

JIS A 5548 タイプ I 基準を満たすことを確認した。

表 1 JIS A 5548 タイプ I 試験結果

項目	接着強さ	破壊状態	判定基準
	N/mm ²	%	N/mm ²
標準養生	0.72	AB22A78	0.60 以上
低温養生	1.05	A78GA22	0.30 以上
アルカリ水中浸せき	0.86	A50GA50	
温水浸せき	0.61	A78GA22	
熱劣化	1.12	A80GA20	

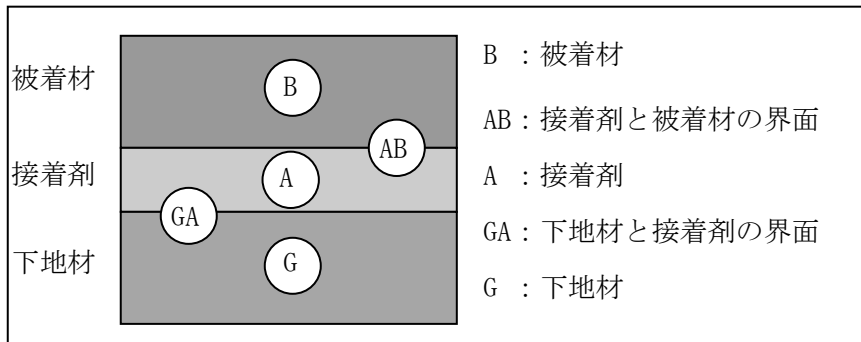


図 1 破壊状態図

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。